

しのばず自然観察会より 2020-02 2020.02.16

2020年3月の活動 その1 旧小野路城址周辺 自然観察ハイキング

と き： 3月22日(日) 途中、屋根がないので雨天中止

集 合： 午前10時20分小田急線・京王線 多摩センター駅下のバスターミナル

11番乗車場(到着順にならびます・席取り不可・日大三高行き10:30発車)

注意：バス乗車場は鉄道改札口から少し離れた階下であり、乗車場所までには陸橋と下り階段がありますので、必ず余裕を持って集合時刻までに集まってください。トイレは駅改札内で。バスは扇橋下車(バスの便は1時間に1本)。

持ち物： 筆記用具、双眼鏡、弁当、飲み物、雨具、敷物

参加費：200円 帰りは旧小野路宿からバスで、鶴川または多摩センターに出ます。

町田市にある旧小野路城址周辺は東京都の歴史環境保全地区に指定され、雑木林や田園風景が残され、地権者により設立された管理組合やボランティアなどの手で維持されています。旧小野路宿には、里山交流館のほか、新撰組や自由民権運動ゆかりの品を伝える小島資料館もあります(22日は休館日)。現当主の小島政孝さんには、1980年に東京周辺の自然観察ガイドブック「新季節の手帖」をつくった時に助力いただきました。

2020年3月の活動 その2 第20回 上野しのばず学習会

と き： 3月28日(土) 14時~16時30分 谷中の家にて

テーマ：タンポポの生物多様性と生き残り戦略—外来種問題を考える

詳細はP3をご覧ください。

参加費：しのばず自然観察会と上野のお山を学ぶ会会員は無料、会員外200円

上野しのばず学習会は、上野公園としのばず自然観察会にかかわる歴史的话题を取り上げてきましたが、一応、3月28日で一区切りとします。3月はしのばず自然観察会代表の小川潔の研究・日本のタンポポと外来のタンポポの話題で締めくくりとします。

なお、学習会の資料をもとに上野公園としのばず自然観察会の歴史をまとめなおし、しのばず自然観察会の50周年記念にしてはどうかという意見が出ています。月例活動の折に、話し合っていきたいと思います。(小川潔)

しのばず自然観察会 事務局 〒110-0001 台東区谷中3-1-9 小川潔 方
1975年創立 電話 03-3828-8775 URL: <http://sinobazu.extrem.ne.jp>
郵便振替 00100-8-84609 しのばず自然観察会 年会費 2,000円 ほかに行事参加費

2019年以前の会費未納の方もお忘れなく！ 退会の場合は早めに葉書で事務局へ。

不忍池水質簡易測定（パックテストによるCOD簡易測定）の結果

COD(mg/l)	2012.01.08	14.01.12	15.01.11	16.01.10	17.01.08	18.01.14	19.01.13	20.01.12
1. 蓮池弁天堂前	6	7	13	7	5	8	8	4
2. 動物園池弁天堂前	7	6	6	5	4	7	7	7
3. ボート池南西端堰	40	6	5	5	7	5	7	3
4. ボート池ボート場横	10	8	6	4	4	5	30	4
5. 動物園池弁天堂後	13	16	7	7	20	8	7	4
6. 蓮池弁天堂後	30	13	10	8	4	7	10	6

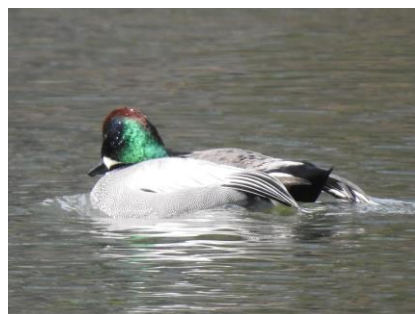
パックテスト使用（8mg/l以下は低濃度用試薬使用 10mg/l以上は標準濃度用試薬併用）

毎年1月の公開観察会の折に行っている不忍池のCOD簡易測定を、今年も1月12日に実施しました。結果は3つの池とも一桁で、まあまあコイが住める環境でした。なお、これまでの不忍池では、植物の光合成による酸素放出のために溶存酸素濃度が高く、CODの値が高くても魚類が生きられる環境になっているようです。

この冬の不忍池 見どころ

ボート池でオカヨシガモとヨシガモが見られます。オカヨシガモは20～30羽いることもありますが、ボートが繰り出すと移動して、見られる数が減ります。2月中は水曜日がボート場休業日なので、見やすくなります。ヨシガモは2月に入って減ったようですがひとつがいはいつも見られています。ときにウミネコやカワセミも見られます。

蓮池では岸から一定の距離で、水上に出た部分の枯れハス刈りが2月に入ってから行われています。残った枯れハスのなかからカイツブリの声が聞こえます。



ヨシガモ オス



オカヨシガモ オス



メス オス



逆立ちして餌取り

第20回『上野しのばず学習会』のご案内

テーマ：タンポポの生物多様性と生き残り戦略—外来種問題を考える

と き： 2020年3月28日(土) 午後2時 - 4時30分

時 間：午後1時45分開場 交流会と後片付け5時まで終了

場 所：「谷中の家」台東区谷中3-17-11 路地に面し壁面を木で格子状に覆った民家です。東京メトロ千駄木駅2出口より徒歩7分、またはJR・京成日暮里駅北口より徒歩10分、またはJR 西日暮里駅道灌山口より徒歩7分（地図参照）

主 催：しのばず自然観察会・上野のお山を学ぶ会

話題提供：小川潔（東京学芸大学名誉教授・しのばず自然観察会代表）

参加費：しのばず自然観察会と上野のお山を学ぶ会会員は無料、会員外200円

連絡先：小川潔（電話 03-3828-8775 当日午後1時20分まで）



生物多様性の保全は21世紀のキーワードの一つになっていますが、イメージ作りが先行して、生きものの側からの内実はなかなか理解が進んでいないように思われます。特にタンポポについては、在来種と外来種との関係を、強い外来種が弱い在来種を駆逐していると考えた迷信が長く席卷していました。

タンポポは身近な存在として多くの人々が知っている生き物です。それで自然観察会や環境教育でも、よく題材に使われます。でも、そこでの解説には、人の思い込みによる実態に沿わない解説がされることがあります。

タンポポ類の生育地分布は、1970年代から市民参加のタンポポ調査が各地で行われ、実態が明らかにされてきました。

また、新潟大学の森田さんらの分類学的研究も積み重ねられました。学習会ではタンポポの生態研究を続けてきた小川の体験から、「弱くも強くもない在来種」、「かわいそうな外来種」という視点も含めてタンポポ類の生き方を紹介します。

しのばず自然観察会 事務局 〒110-0001 台東区谷中3-1-9 小川潔 方
1975年創立 電話 03-3828-8775 URL: <http://sinobazu.extrem.ne.jp>

『上野しのばず学習会』は今回で終了し、20回分のまとめをつくる作業に進みます。